

相談支援センター

【相談支援】

八戸聾学校は、八戸盲学校と協働で、見えや聞こえ、ことば、発達等で気になる方への相談支援をしています。学校以外の相談支援場所として、南部町と三沢市でサテライト教室を行っています。



【地域支援】

地域における特別支援学校のセンター的機能を発揮するために、学校見学の受け入れやゲストティーチャーの派遣、校内研修への講師派遣をしています。



【地域との連携】

特別な支援を必要とする子どもの自立や社会参加に向けて、医療や福祉、保健、教育等の機関が連携し、支援が行えるよう三八地区特別支援連携協議会の事務局主管として活動しています。

「相談支援センター担当」まで、電話やFAX、電子メールでご連絡下さい。

TEL 0178-43-3962

FAX 0178-43-3942

E-mail hachinohe-sb@asn.ed.jp



主な行事

4月	入学式
5月	全校お楽しみ会、交通安全教室（幼・小・中） 運動会（盲聾合同）
6月	遠足（小・幼）、交流会（幼）、中体連（中）、 修学旅行（小）
7月	水泳教室（小）、遠足（中）、交流会（幼・中）、 夕涼み会（舎）
8月	
9月	交流会（幼）宿泊生活学習（小）、中体連（中）
10月	交流会（幼）、学習発表会（盲聾合同）
11月	職場体験（中）交流会（小）
12月	交通安全教室（幼・小・中）
1月	スキー教室（小・中）
2月	一日入学（小・中）
3月	お別れ会（幼・小・中）、卒業式・祝う会

寄 宿 舎

寄宿舎は学校に隣接しています。遠隔地に住み、通学困難な子どもが主に利用していますが、それ以外でも希望により利用することが可能です。子ども達は自分の部屋をもち、寄宿舎指導員の支援のもと、洗たくや掃除などを自分で行います。また、寄宿舎の中で役割を分担し、協力しながら生活しています。さらに、八戸盲学校の子どもたちと合同で行事を行います。



※聾学校は、盲学校と併設しています

○バス利用

八戸駅より

南部バス「ラピア」行き、「栄町」下車 徒歩5分

市営バス「ラピア」行き、「栄町」下車 徒歩5分

「旭ヶ丘営業所」行き、「八日町」で下車し、「鮫」行きに乗り換え、「栄町」下車、徒歩5分

○タクシー利用

八戸駅より20分

○JR利用

八戸線小中野駅下車 徒歩10分



青森県立八戸聾学校 学校案内



〒031-0081

青森県八戸市柏崎六丁目29番24号

TEL 0178-43-3962（学校）

0178-43-3963（寄宿舎）

FAX 0178-43-3942

H P <http://www.hachinohero-shien.asn.ed.jp>

E-mail hachinohe-sd@asn.ed.jp

沿革

明治24年 2月 盲人教育を目的に、東奥盲人教訓会を開設する。
明治44年12月 私立学校令により、私立東奥盲人学校となる。
昭和 2年 4月 聾啞部を併置、私立八戸盲聾学校となる。
昭和12年 4月 県移管となり、青森県立八戸盲聾学校と改称する。
昭和23年 4月 学制改革により義務教育となり、小学部・中学部・高等部を設置する。
昭和24年 4月 校名変更分離により、青森県立八戸聾学校となる。
昭和37年 6月 体育館を竣工する。
昭和42年 4月 幼稚部を設置する。
平成 2年 7月 創立100周年記念式典を挙げる。
平成 6年 3月 高等部が青森県立青森聾学校へ統合される。
平成13年 8月 校舎改築工事のため仮設校舎へ移転する。
平成15年 3月 校舎改築工事完成。
平成16年 1月 皇太子殿下行啓訪問。
平成16年 3月 体育館改築工事完成。
平成17年 2月 多目的運動場整備工事完成。
平成22年11月 創立120周年記念式典を挙げる。
平成25年 2月 全国聾学校合奏コンクール金賞・文部科学大臣賞表彰式を挙げる。
平成26年 4月 八戸盲学校・八戸聾学校協働 相談支援センターを設置する。

校訓

自主（すすんで） 親和（なかよく） 健康（すこやかに）

聾学校では

○聴覚に障害のある子どもに、話しことばや書きことば、手話などの伝達手段を用い、幼稚園、小学校、中学校に準ずる教育を行っています。

○その他に、生活音や話しことばを聴く学習、発音・発語などの学習を行っています。これらの学習は相談支援として受けることもできます。

幼稚部

- いろいろなものに対する興味や関心を広め、すすんで取り組もうとする意欲を育てます。
- 思いが伝わり合うことに配慮しながら良好な友達関係を育みます。
- 基本的な生活習慣と望ましい態度を育て、健全な心と身体の基礎を養います。
- 人とのやりとりを楽しみながら、自分の思いをすすんで表したり、話を見たり聴いたりする態度を育てます。



小学部

- 集団での学習や体験を通して、友達への思いやりや協力する心を育てます。
- 聴覚を活用しながら相手の話を聴き、確実に相手に伝えようとする意欲や態度を育てます。
- 教科等の学習を通して、日本語の基礎的な力を身につかせます。
- 子どもに応じた学習内容や方法を実践することを通して目標に向かって取り組もうとする態度を育てます。



中学部

- 基礎学力や生活力の向上を図るとともに、主体的に判断し、将来の進路について考える力を育てます。
- 相手の立場や気持ちを考え、すすんで協力しようとする態度を育てます。
- 健康に対する意識を持ち、体力の向上やよりよい生活習慣について考え、実行しようとする態度を育てます。
- 自分の意思を様々なコミュニケーション手段で伝える力を育て、日本語に対する理解を深めていきます。

